

さいたま市シニアユニバーシティ岩槻校第9期校友会会報第2号

就任5か月を過ぎて

副会長 坂本 ○○

4月の総会で凶らずも副会長の職に就くことになってから早いもので5か月が過ぎてしまいました。就任当初は責任の重さを感じ、あれこれ考えましたが、考えても仕方がないと諦めて、自分の出来ることは一生懸命やらせてもらおうと思いました。

その点、関谷会長が「やる気満々」なので、その会長のパワーをもらって勇氣100倍で副会長の職を務めさせていただきたいと思います。

本年度9期は、文化祭の主幹を担う事となりましたが、その準備も7月8日に開催されました、「第一回文化祭実行委員会」に向けて5月から月一回のペースでの関谷会長をはじめ、9期の三役と担当責任者だけの打ち合わせを行い開催要領書の作成に当たりました。

また、9期本体として、5月17日の課外活動は雨で順延になり20日となりましたが、晴天の中、日光新緑のハイキングを実施し、楽しかった様子は、すでに会報に掲載された通りです。この後いろいろな講座計画が滞りなく実施されましたが、執行部の一員となって初めて講座を開催するには、計画から実行まで並大抵のことではない事を実感致しました。それ故に11月の文化祭を成功させるには9期の皆さんのご理解とご協力がなければ成り得ません。終わったときには来賓・来客・会員の皆さんから喜んでもらえる様な文化祭にしなければならぬと思っております。

これからも校友会活動は「明るく・楽しく・元気よく」をモットーに関谷会長を補佐し、三役ともコミュニケーションを高めて会員の皆さんが少しでも満足できるような会にしたいと思います。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



五 節 供 の お 話

第一回講座「五節供」の話を受講して

6月14日に大島一敏先生の五節供（五節句）についての講座がおこなわれました。

五節供 人日(1月7日)、上巳(3月3日) 端午(5月5日) 七夕(7月7日) 重陽(9月9日)
徳川幕府による国の政策、明治政府により明治6年に廃止

それぞれの節供食文化及び行事について聞きやすい口調で丁寧に教えてくださいました。

受講を終了して次のようなことを思いました。日本の古くから伝えられてきた文化は中国由来のものが多いにも拘わらず現在の中国のイメージと各段の差を感じます。

五色の短冊、相撲の土俵の幕の色、神社の五色の幕のいわれ、祝い事に使われる赤と白のいわれ等知っていそうで知らないことを教えていただき、心が豊かになった感があります。

明治政府によって禁止になった以後も五節供が存続しているのは、日本人の叡智であり、このような美しい伝統行事は次世代にもつなげていかなければと思っています。文：田村 写真：樺木



心 如 工 画 師 (心は巧みなる絵師の如し)

出来あがった絵には、其の作者の心が現れている。良き心の人々が描いたものには素晴らしい世界が広がるが、悪しき心の人々の絵には必ず邪悪なものが描かれている。人は総じてそんなものだ。



私は転勤族だったので、退職前の10年間に4回、通算8年の単身赴任を経験しました。生まれが滋賀なので関西方面が多いのですが、なかでも暑い夏が来ると泉北ニュータウンでの2年間は思い出されます。

平成8年7月に着任するのですが、堺市南部を中心に「O157」による学童の集団下痢症が発生した直後であり、生ものは一切禁止で暑い盛りになべ料理で迎ってもらったことを思い出します。各家庭に消毒液も配られていて、毎日のようにテレビで近くの小学校等が映し出されていました。大きな出来事でしたが、年が明けるところからは原因が特定されないまま「O157」関連のニュースは新聞・テレビから少しずつ遠ざかっていったように記憶しています。

ところで、泉北ニュータウンは千里ニュータウンに次いで堺市と和泉市の丘陵地帯に大阪府が開発した団地ですが、今はご多分に洩れず初期入居者の高齢化などで人口は減少しているようです。(昨年末で約5、8万世帯、約13万人)

私の利用駅は泉北高速鉄道の梅・美木多(トガミキタ)駅でした。南海電鉄高野線経由で難波駅に乗り入れていました。駅名が珍しいので由来を聞いたところ、利用地域が梅地区と美木多地区で、駅名決定でいずれの地区も譲らず地区名併記になったとか。また、「梅」とは木の母と書くのでどのよう木か興味を持ちました。梅(トガ又はツガ)はマツ科の常緑高木で縦の木に似ているのですが縦は葉先が尖っていて梅は葉先が丸まっています。

梅の森は夏でも涼しく森の中を走る緑道は快適な散歩道でした。

梅の森の江州音頭に誘われて踊る輪に入る2年目の夏”

夏祭りが終わると人事異動で次の単身赴任地の名古屋市に向かうのでした。

国会議事堂・憲政記念館見学

梅雨も明けぬ7月26日、大勢の参加の元表題の見学ツアーに参加。今回の企画は浪江さんの尽力で国会議員の村井秀樹さんの秘書の方々に案内して頂き、新しい発見が多くあった。最初に憲政記念館で明治維新後、初代伊藤博文から今日97代安倍総理までの国政の流れを目の当たりにし、日本近代国家の中枢の苦労が忍ばれた。歴代総裁の書が展示されており、鑑定団の評価は如何ばかりのものかと下種な思いに浸ったのは自分だけかとても恥ずかしい思いであった。



続いて16年の歳月をかけて造られた国会議事堂を見学。休会中であつたがゆっくりと説明を頂き、議事堂の建築当時どうしても国産で出来なかった物が3つあり、それは郵便ポスト・ドアのカギ・ステンドグラスだけで、他は全部国産の資材を使ったことを知った。昼食は国会議事堂内の食堂で。村井秀樹さんが合流し、議員会館の彼の事務所で記念撮影やしばし懇談の時間が有り、彼の埼玉に賭ける思いの一端を伺った。帰路は小雨の中、行きと同様、池袋経由で三々五々大宮まで。その後は班ごとの集いが持たれ、これからの班活動や、文化祭での出し物など遅くまで話はずんだことは間違いない。浪江さんの企画力に改めて感謝して筆をおきたい。(文責・瀧田)



素人落語出前寄席

8月9日猛暑日の午後、澄川さんのご厚意で昨年に続き第2回の落語鑑賞会を開催。今回は先輩の8期生から大勢の落語好きと我が9期の45名の参加で大いに盛り上がった。昨年同様4席聞かせて頂き、私事で大変失礼かと思うが、昨年と比較して今年の席は格段に上手に演じて

頂き、特に鹿鳴家ひで坊さんの「火焰太鼓」や鹿鳴家ここあさんの演じる「千早振る」等は幾度となく耳にした演題であったのでお客は身を乗り出して聞き入っていた。古典落語は、演じる人が如何に他人のコピーで無く、自分独自の構成で演題と格闘する事に寄り、聞き終わった時に演じた人の評価が分かれるのではないかと考える。今回の木戸銭の200円はとても安かった次第。次回は300円頂こう。(文・瀧田)



上・ひで坊さんの**火焰太鼓**
左・ここあさんの**千早振る**

文化祭練習活気帯びる

今秋行われる文化祭の練習が一段と活気を帯びてきている。猛暑・酷暑の中コーラスと女性の演じる「365歩のマーチ」と脚もおぼつかない男性が演じる「錨を上げて」の特訓が8回計画されている。三品さんの指導で既に4回実施され、女性陣はともかく男性も幾分らしくなってきたが本番まで一段の努力が必要である。指揮は澄川さん。



吹き矢体験 8月23日

3班の石塚さんのご厚意により「吹き矢」を体験する事が出来た。「吹き矢」はご存じの通り腹式呼吸が基本であり、私ども高齢者にはとても健康上優れた競技であり、年齢を問わず誰でも参加できる競技である。競技方法は色々ありそれぞれとても楽しめる。アーチェリーのように真中が高得点であったり、1から9までの数字に命中させるなど競技としてもとても面白い。石塚さんは土曜日に東岩槻ふれあいプラザで楽しんでおられますが、他にも6つのクラブが主に土日を中心にクラブ活動をされておられますので興味ある方は石塚さんに相談してみても如何でしょう。



高得点で満面の笑みの中島さんにご指導頂いた岩槻吹き矢連盟の先生方

「今、自分に与えられた物が、最も大切なものである」

人間は総じて現在自分が置かれた立場を容認しようとしなない。もっと他に素晴らしい物が有るやに考えてしまう。そしてつつい無物ねだりをしてしまうのが常である。今現在自分に与えられている全てが、最高の贈り物であると理解して生活すれば、其の人は最高の幸福人である。